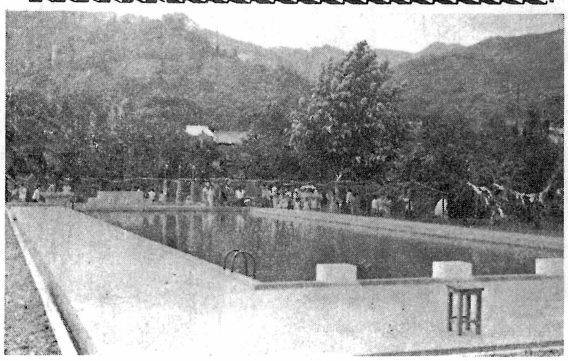
くにみ

【才71号】
昭和38年8月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

祝各校プール完成

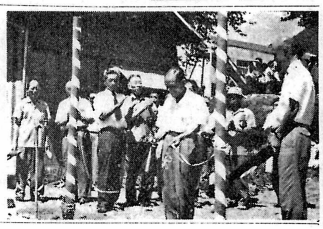
小坂、大木戸も相次いで待望のプール開き



七月三十日小坂小学校、八月二日大木戸小学校と相次いでプール開きを行ない、これでわが国見町では、町内六つの小中学校に全部プールができたわけである。

この両地区ではさきに完成した大枝と共に、全地区民こぞってこの日を喜び、早朝から校庭に集まり、プールサイドに人垣を作って、水晶のような水がなみなみとたたえられたプール面を珍らしそうに眺めていた。式はまず講堂で行われた。工事経過報告、祝辞、感謝状贈呈、学校長謝辞など型通り行なったのち、町長の手で紅白のテープは切られ二一同プールサイドに進入、中学生による模範游泳で式は終った。

県下小中学校でプールをもっているものの六十三校、百校に六校の割というのに比べ、普及率一〇〇%にしたわが町当局者の教育熱の高さ思いやられるものがあろう。毎日の新聞やラジオ・テレビは、むざんな小供の水死事故を報じ関係者を悲しませている。わが町にもこれまで幾たびかその経験はあるはずだが、今は一応その心配がなくなったわけである。しかし、災難は思いがけないところに待っている。これまで貴い人命を呑んだ川池、沼、水溜などがなくなったわけでない。充分気をつけてもらいたいものである。



小さな親切運動を提唱す

公民館長　佐藤善次郎

最近「小暴力追放運動」と共に「小さな親切運動」が盛んに呼びかけられ、その全国本部さえ出来て国民運動化していることは、まことに喜こばしいことである。小さな親切運動のきっかけは、東大の茅学長が今年の三月の卒業式に際して行った訓示の中で、小さな親切をさりげなく無意識のうちに行い得る人間になることを強調されたのが意外に反響を呼び、それに坂西志保さんなども加わり提唱されたものである。

満員電車で疲れきった身体をやっと、つり皮に支えている時に座席をゆづられた時の喜び、不案内の土地で訪ねる人の家に詳しく教られた時の有難さ、雷雨の全国本部さえ出来て国民宿りに招ぜられた一ぷくのお茶の味のうまさ等々誰にもこうした他人の心のあたゝかさに触れた嬉しい経験は幾度かあるであろう。その時の喜びや有難さは真夏の太陽のような強烈なものではなく、春の夜の朧月のような、ほんのりとした温かさを感ずるものである。

この温かさがせち辛い世の中のオアシスとなり、相克の多い世の中の緩衝地帯となって、我々の生活に明るさと、潤いを知らず〳〵の中に与えてくれるのである。それが積み重ねられて、我々に生きる勇気を与えてくれるばかりでなく、生きる喜びを感ぜしめることになる。まことに名は小さいが、大きい効果をもたらすものと思う。

それにこの運動に大切なことは、代償を求めてはならないということがある。又求めない考えないところにこの運動の尊さがあるのである。

更に小さな親切をせよということと同時に、他人からの親切は心よく素直に受けなければならないことである。社会が安定しておれば問題は起らないのであるが、社会が不安定であればこの親切も素直に受け入れられない場合もあることを考えねばならない。

親切にことよせての誘惑であったり、持ってもらった荷物を持ち逃げされたのでは、大変なことになる。このようにこの運動の底には、社会安定度という大きな基盤のあることを思うと当然安定せる社会をつくることに先づ力を致さねばならないことになる。芽さん達の提唱も、この辺に本当のねらいがあるのではないか。敢て提唱するゆえんである。

又日本人は兎角向う三軒両隣り的に、自分の身近かな人には特に親切であるが見知らぬ人のことは、我れ関せずの事が多い。狭い範囲を越えて赤の他人に及ぼすところにもこの運動の意義を見出さねばならない。

このように考えてきてさて、わが国見町の人々はとて反省すると、私はじめ少少辱かしい心にならざるを得ない。心に思っても直ちに行動とならないのが我々東北人の欠点である。ひとつ勇気を出して小さな親切運動に参加しようではないか。

◎一日一つずつてもよい、小さな親切を実行しましょう

工場誘致第一号

輸出向縫製工場決る

町の発展を図り、住民の福祉を増すためには、工場を誘致することが必要であるとの趣旨で、町では条例をつくりその受入れ体制をととのえていたが、こんどいよいよその第一号として、福島市荒木縫製社を迎え、関係者をよろこばせている。

藤田駅前奥山氏畑五〇〇坪を敷地として、去る七月十八日地鎮祭を行ない、目下工事中である。同日行われた披露会席上、荒木社長の挨拶、赤井畑町長の祝辞に引つづき、中央商社アメレックス、コンパニー丹治氏から、製品の今後の見通しと期待についての説明があり、大きな感銘を与えた。

この工場は、横浜ゴム会社のレザーを材料として高級ジャンパー類を縫製するもので大体はアメリカ向け輸出品である。女子工員八〇名、男子工員一〇名を募集中で、町内青少年各位の協力を望んでいる。

浄水（除鉄）工事

八月末に完成予定

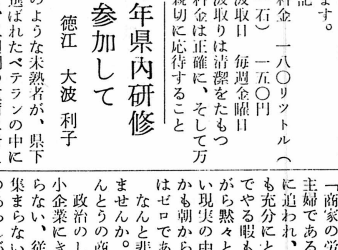
六月号の本紙でお知らせした上水道の除鉄工事は目下急ピッチで進行中で、着工期日の都合でいくぶん遅れたが、今月末には立派に完成し、赤い水ともいよいよお別れということになるわけである。

【写真】は八分どおりできた工事場

浄水（除鉄）装置のあらましはつぎのとおりで、一日の処理能力一三〇〇トン。完成の際は町民各位の見学をおすすめしたい。

(1) 気曝装置
(2) 薬品混入槽
(3) 急速沈澱槽
(4) 急速ろ過槽
(5) 浄水槽（一〇〇トン入）

し尿汲取り六社指定



さきに管内七か町並に飯坂町の共同施設によるし尿処理場が完成したので、わが国見町では左記六社を区域内し尿汲取業者として選定し、許可証を交付した。

飯坂町　稲村清掃社
同　飯坂同
同　山川同
梁川町　梁川衛生社
同　朝倉清掃社
桑折町　三井同

以上六社との申し合せは次のとおりであるので、各家庭におかれては、毎月末〇金曜日を汲取日と指定してそれぞれの社と契約するようおすすめします。

記

一、料金　一八〇リットル（約一石）　一五〇円
一、汲取日　毎週金曜日
一、汲取りは清潔をたもつ
一、料金は正確に、そして万事親切に応待すること

青年県内研修に参加して

徳江　大波　利子

私のような未熟者が、県下から選ばれたベテランの中に入って、二週間の重荷に耐え得るかどうかという心配と、井の中から抜け出して大海とまでいかなくとも大河ぐらいは眺めたいという希望をごちゃごちゃにして、県教育委員会主催の「青年県内研修」に参加しました。七月十八日から三十日まで、ほんとうに楽しく意義ある十三日間でした。

研修生は男女合せて三十九名、猪苗代の積慶窯で、全員そろって事前事後の研修をした外は、四班にわかれての現地研修でした。私たち女子班九名は四倉高校に宿をおき、小名浜・平・勿来各地の見学をしながらいろいろな研修をしました。

次に感想の一部を申上げてお世話になった町の皆さまに対するお礼といたします。

1、男女合同で事前事後の研修をしたことは、それぞれ異性の立場を理解するのに役立った。

2、団体活動は固苦しいものと思っていたのに、却って楽しく、社会生活に大切なものであるとわかった。

3、これからの農業は、自給自足的な考えやよろづや式農業経営でなく、高度に専門化企業化しなくてならないことを見せつけられた。

今後私も、これをきっかけに自分の理想を現実化するため地域発展のため、グループ活動を通して努力して行きたいと考えています。

ご協力を乞う

国見町商店の公休日月三回実施にふみきる

国見町商工会では、中小商工業経営改善の一つとして、これまで月二回であった商店の公休日を三回（1・11・21日）に改め、今月一日から実施した。これについて関係各方面の話をきいてみる。

まず商工会事務局の **菅野正美** 氏は去る八日の読売新聞の切抜きを読みながら

「商家の労働力のにない手は主婦である。その主婦が仕事に追われ、娯楽はおろか睡眠も充分にとれず、子供と遊んでやる暇もなく、がまんしながら黙々として、このきびしい現実の中で働いている。しかも朝から晩まで働いて報酬はゼロである。

なんと悲しい記事ではありませんか。しかし、これがほんとうの商家の姿です。

政治のしわよせはみんな中小企業にきて、生産性も上がらない、従業員も思うように集まらない。その上流通革命のあらしが遠慮なく吹きあれようとしています。肉体的にどんなに夢中に働いても、合理的な、頭脳的な経営をやらなければ、これからの商店経営は困難だといわれています。

商家の主婦たちにも、もっと休養を与え、教養を積む機会を設けてやることが必要だと思います」。

次に **若い店主** は「むしろ週休制を」という積極性を示しながら語った。

「サラリーマンが日曜毎に充分な休養と娯楽を求めて明日への活力を養っているのに、なんで商店だけが早朝から夜中まで休みなしに働かなければならないのでしょうか。仕事の能率というものは、無休で働きつづけるよりも、適当に休みをとりながら働いた方が効率的だといわれています。四六時中ガリ勉する子供よりは、休みながら合理的な勉強する子供の方がかえって成績がよいものです」。

次に、日夜バイクでかけめぐっている **若い嫁** の声、

「せっかく公休日を設けていただいても、わたしだち商家がみんな協力して実行しなかったら、そのしわよせをうけるのはわたくしたちです。公休日の札をかけておいても、勝手口にまわってこられたらどうしましょう。大せつなおくないさまにご不自由かけたくないということで、けつきよく自分で自分のくびをしめているのです。理髪やさんやデパートのように絶対用がたせないということに絶対用がたせるには、みんな協力することです」。

最後に商工会長 **穂苅計三** 氏は、商人自身の自覚もさることながら、消費者各位の理解と支援によって、せめて公休日には、ゆっくり洗たくする時間だけでも主婦たちに与えたいといっている。

「公休日をきめたからには、断固としてやりとおすという商人自身の決意と自覚が大切であると共に、周囲の消費者各位からも、公休日には買物を遠慮していただくだけのご理解とご支援をお願いしたいものです」。

◎町民総スポーツで……心身の老化を防ぎましょう

本を読むお母さん

などフィルム定期配分

申し上げた県のフイルムが左記のとおり一〇本まいりました。これから九月一ぱい当公民館におき、九月には更に一〇本まいり、合せて二〇本が常置されます。部落会、婦人会、青年会、PTA、研究会などの各種団体の集まりに一～二本利用されるとたいへん効果的です。婦人学級、青年学級、父母学級、その他の学習活動に使えば尚更便利です。

利用ご希望の方は、直接公民館に申し込まれるか、左記各部落におられる技術者又は学校の先生にご相談下さい。

一巻は大体九～一〇分の長さです。

(1)、本を読むお母さん……二巻
PTA母親文庫の記録映画

(2)、鯖（さば）二匹……二巻
人権の問題を農村の実例によってえがく。こんなところにも問題がある。

(3)、遠足……二巻
子どもの遠足をとおして、学校と家庭の在り方を考える。ほんとうの愛情とは？

(4)、夕焼け……三巻
農地の交換分合を取扱った児童劇

(5)、先生の湯呑み……二巻
先生の湯呑みを洗おうとしてあやまって落して割ってしまった少年の取扱い方を考える。

(6)、あの町この村……二巻
山梨県のある村でやっている生活改善の姿

(7)、江戸美術……二巻
江戸時代の美術紹介。天平美術、室町美術などの組もの。

(8)、日本の宝……五巻
世界にほこるわが国の芸術美術、工芸などを紹介する。

(9)、一握りの土……二巻
(略)

(10)、ベルリン物語……二巻
(略)

映画についての御相談は左記の方へ

◎小坂方部
安藤良一　若林清一　菅野善一　佐藤洋一　阿部啓平　熊坂正　熊坂熊男　高原良一　佐藤春夫　大友光雄

◎藤田方部
高橋勝美　佐藤正明　佐藤邦治　岩城重夫　大沼勉　中野忠重　菅野正美　武田喜男　市川常蔵

◎森江野方部
佐久間幸雄　佐久間忠雄　三輪俊幸　宍戸惣兵衛　吉田勝基　小野光一　八巻忠一　村上徳一　三浦勝男　佐野貞治　菊地孝一　佐久間術

◎大木戸方部
大内守　阿部重正　鈴木捷治　高橋正一　八島藤市　松浦栄　阿部忠夫　斎藤修一

◎大枝方部
玉手繁雄　玉手正平　鈴木正夫　鈴木昭一　鈴木徳治　鈴木美八夫　岩城達男　岩城正義

◎尚各小中学校にお申出でくだされば係りの先生がおせわしてくださることになっています。

年間事業や予算など決める

初の評議員会開く

国見町地域婦人会ではこんど連合婦人会の組織を改めて連絡協議会とし、今月四日初の評議員会を開いて三十八年度の事業計画や予算などを審議した。これまでの会の運営がとかく一部役員の手にまかせられていたのに比べ、こんどは部落委員長が評議員として協議に当り、単位会の役員（会長・副会長・書記・会計）は理事としてもつぱら事業の執行に当ることになったので、だいぶ民主化したと喜ばれている。

事業としては、あくまでも単位会や部落会を育成することをねらい、リーダーの研修会、政治教室、老人福祉、青少年対策など単位会相互または教育委員会、公民館その他の機関団体との共催ということに力を入れているようである。

◆評議員
本会の評議員は各部落を代表するものが当り（第六条）評議員会に出席し、事業及び予算の審議、決算の承認などを行なう。（第七条）

◎小坂方部
（部落委員長）
（部落名）
泉田上　渡辺　アキ
同　中　浅野イツノ
同　下　阿部ミサオ
前　田　安藤　トヨ
内谷東　樋口　キク
内谷西　赤坂　キミ
小　坂　太斎　トシ
太田川　斎藤ミヨノ

◎藤田方部
駅　前　羽根　きい
錦　町　遊佐　よし
本　町　曳地とみ子
宮町南　石黒　愛子
宮町北　菊地　トミ
大町南　渡辺　いと
大町北　小西マサノ
鶯　町　佐久間ふさ子
滝川・滑沢　宍戸　イネ
小館・館　千葉トリヨ
川前・水門　高橋　アサ
滝　山　市川　英子
石母田　吉田　キミ

◎森江野方部
第一班　宍戸　キヨ
第二班　佐藤　チヨ
第三班　近野　ハナ
第四班　佐藤　ミヨ
第五班　斎藤ムメノ
第六班　佐藤　ハマ
第七班　佐藤　たけ
第八班　村上　トク
第九班　村上　マサ
第十班　大内しとし
第十一班　佐久間フサ

◎大木戸方部
大木戸　松浦トキエ
高　城　志村　チヨ
光明寺　加藤　ワキ
貝　田　佐藤　千代
山　根　松浦　ハル

◎大枝方部
原　町　小林よし子
築　館　鈴木　きい
川　内　新井　ナツ
並　柳　後藤　つる
北　部　佐藤　いち

◆監事
本会の事務および会計を監査し、これを評議員会に報告するのが役目（第五条）各単位会の監事の中から二名づつ出る（第六条）本年度の監事左のとおり
古内イチ（小坂）高橋トミ（藤田）大津キクノ（森江野）八島アキ（大木戸）佐藤あやを（大枝）

景風会員評議会連絡協婦人

スカンヂナビヤを無銭旅行

日本に似たノルウエー

—八島君より第七信—

もう稲の穂が出そろい、果物の収穫にいそしんでいられることでしょう。予定の通り七月一か月間休暇となり、デンマーク・スエーデン・ノルウエー三か国の旅行をしました。

二日から十三日までデンマーク国内をヒッチハイクの無銭旅行。デンマークはセイランド・フイン島・ユーランドの三つの部分から成り、大小数十の島があります。ユーランドはドイツと境を接している半島で一番大きく、私たちはその北西端の町にいるわけです。

西端の町にいるわけです。私たちのいるチステ周辺は土地もよく農業経営では国内一のようでした。南に行くにしたがつて土地が悪くなり、牛一頭当りの畑面積も広くなります。また西端には酪農が多く、南にいくにしたがい馬鈴薯が多くなります。

フイン島は有名な童話作家アンデルセンの生れた所ですが、近郊農業という感じで野菜・果物が多く、その他を五日間見学しました。アジヤからは日本人三名と南朝鮮五名インド一名でしたが、みんなめずらしく、友だちになつてくれといつて話しかけてきます。アフリカのコンゴ・ガーナから各一名づつ参加、その他ヨーロッパ各地の青年男女が集つての楽しい講習でした。

十九日から五日間スエーデンを見学、その後六日間ノルウエーを旅行したわけです。スエーデンの南部は平坦地でデンマークと似ていますが、東にいくにつれ湖が多く、土地が悪くなり、したがつて植林が盛んで、すばらしい林に目を見はるばかりです。ノルウエーは全くの山岳農業、日本をはなれて六か月、始めて日本らしい風景に接し、沈まぬ太陽を眺めながら遠い日本の郷愁にふけりました。旅行してはすばらしいノルウエーも、農業としては骨折れるようです。農家を訪ね、一夜の宿を借りていろいろ勉強しましたが、日本でも山の利用についてはもつと考えなければならぬと感じました。

七月三十一日デンマークにもどり、農家を替えて、残された二か月間の農業実習を始めたところです。大ざつぱに書きましたが来月には写真もできますのでもう少しくわしくお知らせしたいと思います。

八月四日
デンマークにて
八島　博正

わが家のボタもちのうまさを知ろう!!

—吉岡先生の話をきいて—

七月九日婦人の集いに講演された吉岡先生のお話は、集まつた三百人の婦人たちに大きな感銘を与えたばかりでなく、その録音テープは各部落に引張り凧で利用されている。

先生の話が何故このようにみんなに歓迎されるか、それは誰にもわかる言葉でおもしろおかしく説き去り、説き来る巧みな話術にあることもちろんであるが、さらに常に心の奥底にしみついている資本主義、自由主義、実用主義などアメリカ主義に対する反抗に適当な刺戟を与えられ、又戦前派としての郷愁にある満足感をみたしてくれるためではないだろうか。

次はある部落学級で習いもらつた感想文の一部である。

(一)、わが家のぼたもち
「わが家のぼたもちうまくない、隣りのぼたもちはあんこついていなくともうまい。」ほんとにそういうことは日常数限りなくあります。世界で一番よい国は日本である。わが家のぼたもちも、姑さんも、嫁や舅すこも、隣り近所で一番よいものと考えましよう。

(二)、金持ちのまね
アメリカはものすごい金持ちの国で、収入も多いかわり支出も多い。月収二〇万円でも家賃に四万、自動車の月賦に四万、食費に六万とかかつてはどうにもならない。「消費は美徳なり」などと資本主義の宣伝文句に迷わず、質実剛健、勤倹貯蓄を国策とするヨーロッパ諸国に見習いたい。

(三)、自分で考える生活
隣りでテレビを買つたからとか、誰さんとこで電気せんたく機買つたからとか、とかく日本人は隣り近所に引ずられて物を買うくせがある。また、必要でもない機械を買つたり、見せびらかすために道具を買つたりすることも行われるが、お金がありあまる人であつたらいざ知らず、一方当町収入役関口道孝氏の手を経てわが国見町公民館に対して「古代エジプトの美術」という大冊ものを寄贈された氏は関口収入役さんの師匠にあたる人で、かつて欧米視察のとき入手された「カイロ博物館説明書」をはじめ、多くの資料をもとに、エジプト文化に興味をもちこれを研究しようとする人に対する参考書として自費をもつて編集、刊行せられたものである。

(四)、無限の自由は不自由
アメリカには結婚の自由がある。配偶者が嫌いになつたり、年がとつて役に立たなくなつた場合、これと離婚して別の相手と結婚することが相当盛に行われるという。七十三才の老婆が十七才の青年と結婚した話がある。まことに結構な話のようであるが、さて自分が年とつて役に立たなくなつた場合、誰と結婚するのか。

【写真】テープに聞き入る若妻たち（徳北）

植木孝憚氏より古代エジプト美術の本

秋田県山利郡仁賀保町高雲寺住職植木孝憚氏はこのほど当町収入役関口道孝氏の手を経てわが国見町公民館に対して「古代エジプトの美術」という大冊ものを寄贈された氏は関口収入役さんの師匠にあたる人で、かつて欧米視察のとき入手された「カイロ博物館説明書」をはじめ、多くの資料をもとに、エジプト文化に興味をもちこれを研究しようとする人に対する参考書として自費をもつて編集、刊行せられたものである。

編集後記

◎大きなもの一つより小さくとも三つの方に軍配あがる。

◎才一号来たる。つづいて才二号才三号を……。

◎きれいな水ときたない水と。ついでにその中間の水も……下水の処理。

◎思い切つて週休をの声あり。善哉。善哉。

◎フイルム、テープ大もて……とかくほそ長いものもてる世の中。

◎婦人会列車いよいよ動き出す、部落委員長さんしつかりたのみますよ。

◎小さな親切運動、わいわいさわがれるとてれくさくなります。